



「第6回森わさ賞」表彰式が開催されました

2月27日にポートアイランド第1キャンパスにて行われました。受賞されたオサカダツール株式会社(岡山県美作市)代表取締役社長・牧明奈さん(2005年経済学部卒業)に、男女共同参画推進委員長である中村学長より表彰状とトロフィーが贈られました。

中村学長は「性能の高いチゼルの製造開発に携わっておられ、災害現場でも活用されているということで、防災・減災教育に取り組んできた本学としては、被災地支援・復興の想いを持っておられる牧さんこそ、ふさわしい」と祝福の言葉を送りました。

牧さんは「女性らしさの視点や感性で、しなやかに、したたかに経営していくのが私たちの目標です」と述べ、在学生に対しても、「今、目の前の課題や試験など、何故こんなことしないといけないのかと思うこともあるけど、糧となって太い線になってくる瞬間が必ずやってきます」とエールを送りました。



2025年4月より改正・育児・介護休業法が段階的に施行されます

男女ともに仕事と育児・介護を両立できるように、育児期の柔軟な働き方を実現するための措置の拡充や介護離職防止のための雇用環境整備、個別周知・意向確認の義務化などの改正が行われました。

例えば、子の看護休暇の見直しでは、対象が小学校3年生修了までに延長され、取得事由に「感染症に伴う学級閉鎖等」「入園(入学)式・卒園式」が追加されています。詳しくは、厚生労働省のお知らせをQRコードからご確認ください。

学内規定の更新内容は、4月から配信する「子育て支援リーフレット」「介護支援リーフレット」にも反映いたします。



「神戸学院大学 一般事業主行動計画」が新しくなります

「次世代育成支援対策推進法」「女性活躍推進法」に基づき、教職員が仕事と生活の両立ができるよう働きやすい環境を作り、また、女性が活躍できる雇用環境の調整を行うことにより、教職員がそれぞれの個性と能力を十分に発揮できるよう、2025年4月から5年間の新しい計画がスタートします。詳しくは後日更新される大学HPよりご確認ください。



「男女共同参画・ジェンダー 卒論発表会が開催されました

7回目となる学部をまたいだ卒論発表会が、2月5日に開催されました。今年度は、3学部から11名の学生がエントリーし、当日は10名が発表しました。

参加者全員による投票の結果、最優秀賞に長谷川雄一さん(現代社会学部社会防災学科)「女性に対するバイスタンダーのBLSとその普及について」、優秀賞に飯綱萌さん(グローバル・コミュニケーション学部中国語コース)「台湾人『慰安婦』とその支援について—阿媽・支援者の声を中心に—」と、田中愛桜さん(同学部英語コース)「ファッションから見るセクシャリティへのこれからの考察」が選ばれました。

中山文男女共同参画推進室長から、受賞した学生3人に表彰状と副賞の図書カードが贈られたとともに、全ての発表者の報告に対して感謝と講評を伝えました。

最優秀賞の長谷川さんは「春から私は消防官(消防士)として勤務します。女性も男性も等しく助けられるような社会を実現できるように頑張っています」と決意を述べました。

今年度から、エントリーされた方の卒業論文集を作成しています。要旨集とともに男女共同参画推進室でご覧いただけます。



女性研究者ランチタイム・ミーティングを開催しました



1月21日にハイブリッドで開催し、参加者は9名でした。若手研究者が参加し、研究と仕事の両立について相談してくれたことで、参加者それぞれの経験や考えを共有する機会となりました。学部をまたいで、それぞれの研究テーマを話せるような機会があると嬉しいという声がありました。最後は、恒例になりつつある、共通教育センター准教授・上谷聡子先生のストレッチ講座で体をほぐしました。

神戸学院大学 男女共同参画推進室

住所 神戸市中央区港島1丁目1番地3

電話 078-974-1551(代表) 内線 84453

078-571-0927(直通)

メール danjokyodo@j.kobegakuin.ac.jp